



## ◇企業は面接で何を評価するのか？

もうすぐ就職試験（面接）が始まります！今回は、企業が面接で何を評価するのか、企業側の視点を載せてみました。面接の評価ポイントは、「**外面的要素**」「**内面的要素**」「**自社とのマッチング**」の3つに大別できます。「外面的要素」を決定するのは、身だしなみやマナー、話し方など。**人は会ってから数秒で第一印象が決まる**と言われており、面接の重要なポイントと言えます。「内面的要素」は、社会人として必要なコミュニケーション能力や協調性を持っているかということ。質問の答えやふるまいから判断されます。

### 主な評価項目

外 観	髪型、服装等に清潔感があるか
態 度	入退室のマナー、面接中の姿勢、声の大きさ、ハキハキとした動作
表 情	顔の表情、元気さ、身ぶり・手ぶり等の動作で伝わる熱意
理解力	聞かれた質問の意味を理解する力があるか
論理性	具体的・論理的に話をする力があるか
人 物	一緒に働きたいと思える人物か（主体性、積極性、責任感、協調性等）
能 力	強み、長所、特技、経験、資格、得意なことなどがあるか
経 験	学生時代の経験・知識の豊富さ、それらによる成長の足跡
意 欲	働くことに対する希望・目的意識、自社を志望する熱意



そして最後の評価ポイントは「自社とのマッチング」では、外面的要素・内面的要素を総合的に判断し、会社との適性度をはかります。

**企業は、利益につながるから人を雇っています。そのため、「利益に貢献できる人材」を求めています。企業に「それはどんな人材か」とたずねたら、知識や技能は別として、「自分で考え行動出来るタイプ」と答えるはず！**



(資料出所 厚生労働省「高校生就職ガイダンス」より)

## ◇先輩からのアドバイス

### 足立 駿介 さん

平成24年度 日本福祉大学卒

郡上市社会福祉協議会

障がい福祉サービス事業所 ウイングハウス 勤務



#### ☆仕事について

現在の仕事内容は障がいを持った方の支援をしています。支援の内容は主に2種類で、生活介助と、就労支援といって企業から下請の仕事もらい、働くことを教えていくものがあります。

利用者さんとのやりとりの中で自分の思いが伝わらず、不安に思わせてしまうこともあります。パニックにならないように事前に物事を伝えたりして本人のペースを乱さないように気を付けています。

障がい者の方にもそれぞれの個性があります。ひとりひとりの個性を見つめ、個性を伸ばしたり悪いところを認めて改善しながら**信頼を築いていくこと**にやりがいを感じます。

福祉の仕事をやろうと思ったのは、高校のときに福祉の授業を取ったことがきっかけでした。ボランティアを通して障がい者施設へ訪問する中で、**地域貢献が出来る**この仕事に魅力を感じていきました。

社会福祉協議会を通して、障がい者や高齢者を含めた**全ての人にとって住みやすい郡上市**にしたいです。

#### ☆学生時代について

小学生のころから高校までは剣道を続けていました。高校のときは主将を務め、大変なこともありましたが、部員たちの協力もあり最後まで勤め上げることが出来ました。

大学生のときは興味があったバンドサークルに入り、コピーバンドやギターをやっていました。他にも、夏休みに小学生を連れて廃校で1か月間キャンプするサークルにも入り活動しました。子供たちに精神的に成長してもらうために会議を重ね苦労しましたが、最後に成長した子供の姿を見たときはとても嬉しかったです。

#### ☆郡上市での就職について

郡上で就職を決めた理由は、自分が長男だからです。家族も喜んでくれていますし、**郡上には同じ場所で生まれ育った気の合う仲間がいる**ので毎日楽しく過ごしています。大学の友達に「良い所だね」と言われたりと、自慢出来る地元です。

**受験や就活に失敗しても違った環境の中で自分を見つけられるはず**です。失敗を恐れず色々なことに果敢に挑戦しましょう！  
**何事にもご縁を大切に。**



<編集後記> 高校生の場合、「高校生らしい元気がある」「言われたことは素直にできる」という人物像が伝われば採用担当者は良い印象を受けます。メリハリのない態度や元気のない対応をしてしまうと履歴書や筆記試験の出来が良くても採用されません。本番には元気よく臨みましょう。(A)